

- 1 日 時 平成23年7月11日(月)
- 2 学年・組 第2学年6組(男子17名 女子17名 計34名)
- 3 場 所 第2学年6組 教室
- 4 単元名 「Unit3 E-pals in Asia : New Horizon English Course Book2」
- 5 単元について

○教材観

この単元はコンピュータやゲーム、eメールなど生徒が興味を持ちやすいものから話題が始まる。インターネットを通じてウェブページ上で世界の子供たちが漫画について情報交換しているところを読み取り、最終的に生徒自身もウェブページに参加する疑似体験ができる内容となっている。漫画やインターネットなど、生徒が興味を持って国際理解を深め、世界を近くに感じることのできる題材である。また、英語を身につけていくことにより世界が広がることを伝え、英語学習へのモチベーションを高められる内容となっている。

言語材料としては不定詞の副詞的用法と名詞的用法を扱う。これまでは「○○は□□だ」や「○○は△△する」等の単純な文しか作れなかったが、不定詞を学習することにより「○○は△△するために□□する」や「○○は△△することが□□だ」等の幅広い表現が可能になる。生徒自身が行ったことの目的や、したいことなどを自由に表現できることで、積極的なコミュニケーション活動ができ、英語学習へのモチベーションを高めるに相応しい教材である。

○生徒観

本クラスは、英語学習に対するモチベーションの低い生徒が見られる。英語に対して苦手意識を持っている生徒が多く、全国学力調査や前期中間テストにおいてもなかなかよい結果が出せなかった。特に全国学力調査においては、リスニングに関する問題への正答率が全国平均 66.0%に対して、本クラスは 61.7%と 4.3 ポイント低かった。

また、教師の指示をあまり聞いていなくて指導に時間がかかったり、個人では考えることが難しい生徒も見られる。しかしその一方で積極的に考えて、発表することやクラスメイトに教えることができる生徒も見られる。お互いに助け合いながら、グループやペアワークのできるクラスである。

○指導観

リスニング力不足を重要課題と考え、コミュニケーション活動を通してリスニングの機会を増やしたいと考えている。まず、本単元の指導では不定詞を用いた表現を、最初の2つのパートでコミュニケーション活動を中心に行う。リスニングで不定詞を導入し英文を聞き取らせ、その意味を推測させてから、クラス全体で意味を確認する。今度はカードを用いて不定詞を用いた文をグループで作らせて意味を推測させ、クラス全体で意味を確認する。次はカードを用いずに文を考えさせ、最終的には個人で文を考えさせ、徐々にハードルを上げていくことで不定詞の用法を理解させたい。また、グループワークを入れることにより生徒1人1人が参加でき、英語学習へのモチベーションを高める授業を考えている。

残りの2つのパートは本文の理解と音読を中心に行った後、不定詞を用いた英文を個人またはペアで考えさせ、定着を図りたいと考えている。まず、センスグループごとの意味を確認し、センスグループごとに音読する。次に1文ずつ意味を確認し、1文ずつ音読する。その後、不定詞を用いた英文を書いて表現する指導を行う。

6 単元の目標

不定詞の副詞的用法と名詞的用法の形・意味・用法を理解し、それを用いて表現することができる。

7 単元の指導と評価規準

ア. コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ. 表現の能力	ウ. 理解の能力	エ. 言語や文化についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で挨拶や音読ができる。 ・積極的にコミュニケーション活動に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞を用いた文を使って、話したり、書いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞を用いた文を、聞いたり、読んだりして理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語句を覚え、不定詞を用いた英文を作ることができる。

		その時間の目標	学習活動	関・意・態	表現	理解	知識
Unit3 E-pals in Asia	第1時(本時)	ア. 積極的にコミュニケーション活動に参加している。 イ. 不定詞の副詞的用法の形・意味・用法を理解し、それをを用いて表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の副詞的用法の導入 コミュニケーション活動 	○	◎		
	第2時	ウ. コンピュータの使用目的を尋ねる英文を読んで、内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本文・語句の導入 本文の内容理解・音読 			◎	
	第3時	ア. 積極的にコミュニケーション活動に参加している。 イ. 不定詞の名詞的用法の形・意味・用法を理解し、それをを用いて表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞的用法の導入 コミュニケーション活動 	○	◎		
	第4時	ウ. Eメール友達についての英語の対話文を読んで、内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本文・語句の導入 本文の内容理解・音読 			◎	
	第5時	ウ. ウェブページで海外の情報を求める英文を読んで、内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 語句の導入 本文の内容理解・音読 			◎	
	第6時	イ. 本文を参考に、知りたいことについて海外に情報を求める英文を書くことができる	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容理解の確認 ライティング活動 		◎	○	
	第7時	ウ. 漫画文化を説明する英文を読んで、内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 語句の導入 本文の内容理解・音読 			◎	
	第8時	イ. 本文を参考に、日本の事情を簡単に説明する英文を書くことができる	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容理解の確認 ライティング活動 		◎	○	
	第9時	エ. 新出語句を覚え、不定詞を用いた英文を作ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> まとめと復習 小テスト 				◎

8 第1時

(1) 本時のねらい

不定詞の副詞的用法の形・意味・用法を理解し、それをを用いて表現することができる。

(2) 本時の評価基準

評価規準	十分満足できると判断できる基準	概ね満足できると判断できる基準	努力を要する生徒への手立て
不定詞の副詞的用法を用いた英文を考え、意味を理解することができる。	不定詞の副詞的用法を用いた英文を正しく理解し、表現することができる。	不定詞の副詞的用法を用いた英文を、カードを用いて組み立てることができる。	生徒一人一人が活動に参加できるよう机間指導を行う。

(3) 準備物

ワークシート・placeカード・whyカード

	Practice 3	<p>教師：What do you think? 生徒は正しいと思えば拍手、正しくないと思えば Objection! と唱える</p> <p>拍手をもらったグループは 2 point、拍手をもらえなかったグループは 0 point (繰り返す)</p> <p>ワークシートの⑥～⑧についてはカードを使用せずに文を完成させる。英文を考え、発表の練習をする時間は 5 分とする。 発表方法は practice 2 と同じで、正しいと判断されれば 3 point もらえる。 (繰り返す)</p>	<p>関積極的に活動に参加している。 【観察】</p> <p>表不定詞の副詞的用法を用いた意味の通る英文を考えることができる。 【ワークシート】</p>
まとめ	本時のまとめ	<p>個人でカードを使わず不定詞を用いた英文考えワークシートに記入する。</p> <p>本時の活動の自己評価をする。</p>	

(5) 板書計画

Monday, July eleventh	Today's Goal : to+動詞の原形「～するために」の形・意味を理解し、表現できる。
-----------------------	---

1	2	3
4	5	6
7	8	9